

水産業・漁村の多面的機能発揮のために 国が果たすべき役割

とりまとめ

「水産多面的機能発揮対策（農林水産省）」

- ・「水産業・漁村の持つ多面的な機能の発揮」という目的の下、一つのレビューシートに性格が異なるメニューが混在しているため、適切でない成果指標が設定され、また、執行状況が明らかでなく、事業内容の把握や成果の検証もできない状況となっており、事業全体を一度ゼロベースで見直すべきではないか。
- ・仮に事業を存続させる場合には、メニューごとに成果目標を設定した上で、メニューごとに事業を分割する、メニューごとにレビューシート上で執行状況の公表や成果の検証を行うこと等により、全てのメニュー・活動について見直し・改善を行うようにすべきではないか。
- ・目標に対し有効とはいえないメニュー・活動については、廃止を含め、国の支援のあり方を見直すべきではないか。特に、漁村文化の承継として実施されている諸活動については、有効性が認められず、廃止を検討すべきではないか。また、藻場、干潟の保全については、具体的な成果目標を改めて設定し、その成果を今まで以上に定量的に示すべきではないか。

行政改革推進会議「秋のレビュー」

・また、当初想定していた関係者の費用負担と実態がかい離しており、地方公共団体に更なる負担を求めることを含め、国、地方公共団体等の費用負担のあり方を見直すべきではないか。

・活動内容について国が評価する仕組みを検討し、活動に関する具体的な情報やその成果・評価をホームページにおいて公表するとともに、横展開できているかを把握・評価する仕組みを導入すべきではないか。

論点についての評価

「水産多面的機能発揮対策（農林水産省）」

論点1 事業の目的が多面的である以上、個々のメニューに成果目標を設定する必要があるのではないかな。

①事業の直接的な成果を検証するためにも個々のメニューに成果目標を設定する必要がある。 5名

改善策の例（複数回答可）

㊦個々のメニューで成果目標を設定 5名

㊦主なメニューでのみ成果目標を設定 1名

㊦成果目標を設定出来ないものは廃止を検討 3名

㊦個別の活動について検証が行われれば良い 1名

㊦その他 2名

②現在の成果目標の設定は適切であり、個々のメニューに成果目標を設定 する必要はない。 0名

③その他 0名

行政改革推進会議「秋のレビュー」

論点2－1 個々の活動は各メニューの目的に照らして有効か。

- ①メニューの目的に対して有効とは言い難い活動内容がある。 5名
具体的な改善点(複数回答可)
- ㊦有効とは言い難い活動については、廃止を含め見直しが必要 5名
 - ㊧補助の対象となる活動を重点化 2名
 - ㊨事業の採択に国が関与する仕組みを検討 2名
 - ㊩その他 1名
- ②個々の活動は各メニューの目的を果たすための手段であり、有効である 0名
- ③その他 1名

論点2－2 国、地方、活動組織の費用負担は適切か。

- ①活動内容を踏まえると負担割合が適切とは言い難い活動がある。 5名
具体的な改善点(複数回答可)
- ㊦地方の費用負担を更に求める 4名
 - ㊧活動組織の費用負担を更に求める 3名
 - ㊨定額補助を見直す 3名
 - ㊩国の補助の廃止を含め検討する 2名
 - ㊪交付単価を見直す 1名
 - ㊫その他 1名
- ②それぞれの費用負担は適切である。 0名
- ③その他 0名

論点3 事業の実施状況や評価などの情報は、適切に公開され、横展開が図られているか。

- ①ホームページ等において、事業の詳細や評価に関する情報が乏しく横展開が図られていない 5名
具体的な改善点(複数回答可)
- ㊦活動内容について国が評価する仕組みを検討する 5名
 - ㊧具体的な活動に関する情報を充実させる 3名
 - ㊨活動の評価に関する情報を公開する 3名
 - ㊩必要な情報を横展開できているかを把握・評価する仕組みを導入する 3名
 - ㊫その他 0名
- ②ホームページ等において必要な情報は公開されているが、横展開が図られていない。 0名
- ③ホームページ等において必要な情報は公開されており、横展開も図られている。 0名
- ④その他 0名